



· 免信人 日本国特計庁(国際調査機関)	
出願人代理人	
橋爪(健	
殿 あて名	РСТ
〒 104-0061	国際調査報告又は国際調査報告を作成しない旨 クルカング
東京都中央区銀座3丁目13番17号	(法施行規則第41条) [PCT規則44.1]
	^{発送日} (日. 月. 年) 05.08.03
出願人又は代理人 の書類記号 P0605PC	今後の手続きについては、下記1及び4を参照。
国際出願番号 PCT/JP03/08114	国際出願日 (日.月.年) 26.06.03
出願人(氏名又は名称) 財団法人 日本産業技術振興協会	
1. 図 国際調査報告が作成されたこと、及びこの送付書と PCT19条の規定に基づく補正書及び説明書の提 出願人は、国際出願の請求の範囲を補正することが いつ 補正書の提出期間は、通常国際調査報告の どこへ 直接次の場所へ The International Bureau of WI 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland Facsimile No.: (41-22)740.14.3 詳細な手続については、添付用紙の備考を参照す	出 できる(PCT規則46参照)。 送付の日から2月である。 PO
2. 国際調査報告が作成されないこと、及び法第8条第 しない旨の決定をこの送付書とともに送付すること	2項(PCT17条(2)(a)) の規定による国際調査報告を作成 を、出願人に通知する。
3. 法施行規則第44条 (PCT規則40.2) に規定する 記の点を通知する。	追加手数料の納付に対する異議の申立てに関して、出願人に下 ・

当該異議についての決定は、まだ行われていない。決定されしだい出願人に通知する。

4. 今後の手続: 出願人は次の点に注意すること。

優先日から18月経過後、国際出願は国際事務局によりすみやかに国際公開される。出願人が公開の延期を望むときは、国際出願又は優先権の主張の取下げの通知がPCT規則90の2.1及び90の2.3にそれぞれ規定されているように、国際公開の事務的な準備が完了する前に国際事務局に到達しなければならない。

いくつかの指定官庁については、出願人が国内段階の開始を優先日から30月まで(官庁によってはさらに遅くまで)延期することを望むときは、優先日から19月以内に、国際予備審査の請求書が提出されなければならない。そうでなければ、出願人はそれらの指定官庁に対して優先日から20月以内に、国内段階の開始のための所定の手続を取らなければならない。

その他の指定官庁については、19月以内に国際予備審査の請求書が提出されない場合にも、30月の(あるいはさらに遅い)期限が適用される。

様式PCT/IB/301の付属書類を参照。個々の指定官庁で適用される期限の詳細については、PCT出願人の手引、第II巻、国内段階およびWIPOインターネットサイトを参照。

名称及びあて名

日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 権限のある職員

特許庁長官

L 9645

電話番号 03-3581-1101 内線 3560

様式PCT/ISA/220

(2002年4月)

(添付用紙を参照)





PCT

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

の書類記号 P0605PC	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220) 及び下記5を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP03/08114	国際出願日 26.06.03	優先日 (日.月.年) 19.07.02			
出願人(氏名又は名称) 財団法人 日本産業技術振興協会					
国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。					
この国際調査報告は、全部で3	ページである。				
この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。					
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 □ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。					
b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。 □ この国際出願に含まれる書面による配列表					
□ この国際出願と共に提出さ	れた磁気ディスクによる配列表				
_	関に提出された書面による配列表				
1 —	関に提出された磁気ディスクによる配列				
□ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。					
□ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述 書の提出があった。					
2. 請求の範囲の一部の調査ができない(第I欄参照)。					
3. □ 発明の単一性が欠如している(第Ⅱ欄参照)。					
4. 発明の名称は 出版	類人が提出したものを承認する。				
∑ 次↓	こ示すように国際調査機関が作成した。 研究開発技術移転方法、プログラム及び	『記録媒体			
5. 要約は 🗓 出版	頭人が提出したものを承認する。				
国国		第47条(PCT規則38.2(b))の規定により 国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ きる。			
6. 要約書とともに公表される図は、 第 7 図とする。 X 出版		□ なし			
□ 出版	頭人は図を示さなかった。				
	図は発明の特徴を一層よく表している。				



F		国际山積金号、プロイプリアリー	3/08114
A. 発明の原	属する分野の分類(国際特許分類(IPC))		
	Int. Cl. 7 G06F17/60		
	了った分野		
調査を行ったよ	是小限資料(国際特許分類(IPC))		
	Int. Cl. 7 G06F17/60		
最小限資料以外	トの資料で調査を行った分野に含まれるもの		-
	日本国実用新案公報 1922-199	9 6年	
	日本国公開実用新案公報 1971-200 日本国登録実用新案公報 1994-200	03年	
	日本国実用新案登録公報 1996-200	03年 03年	•
国際調査で使用	用した電子データベース(データベースの名称、	調査に使用した用語)	
 C. 関連する			
引用文献の	りてはなりはなり、大声へ		関連する
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	きは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号
Y	WO 01/93132 A1 (多摩	岡産業株式会社)	$1 - 1 \ 4$
	2001.12.06,全文,全図		
	& JP 2001-344533 A		
Y	JP 2002-24715 A (太	正洋セイン (株式会社)	$ _{1-14}$
• .	2002.01.25,全文,全図		1 – 1 4
·	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		·
Y	JP 2002-99649 A (坂		1 - 14
	2002.04.05,全文,全図	(ファミリーなし)	
X C欄の続き	きにも文献が列挙されている。	□ パテントファミリーに関する別	紙を参照。
	ウカテゴリー	の日の後に公表された文献	
「A」特に関連 もの	車のある文献ではなく、一般的技術水準を示す	「T」国際出願日又は優先日後に公表 出願と矛盾するものではなく、	
	頭日前の出願または特許であるが、国際出願日	の理解のために引用するもの	形切り原理又は理論
	公表されたもの	「X」特に関連のある文献であって、	
	E張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 くは他の特別な理由を確立するために引用する	の新規性又は進歩性がないと考 「Y」特に関連のある文献であって、	
文献(理	里由を付す)	上の文献との、当業者にとって	自明である組合せに
	よる開示、使用、展示等に言及する文献 頁日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	よって進歩性がないと考えられ 「&」同一パテントファミリー文献	るもの
国際調査を完善	了した日 22.07.03	国際調査報告の発送日 05.	08. 03
国際調査機関の	0名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	5L 9645
	国特許庁(ISA/JP)	山下 達也 (主	[2)
	郵便番号100-8915 那千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	ン 内線 3560



国際出願番号: PCT/JP03/08114

こ(続き). 用文献の テゴリー*	関連すると認められる文献 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する	
Y	WO 00/55791 A2 (THE PATENT AND LICENSE EXCHANGE, INC.) 2000. 09. 21, 全文, 全図 & JP 2000-268111 A	請求の範囲の番号 1 - 1 4	
		-	
·			